

特殊詐欺 通話内容をAIで解析

船橋市・県警・NTT東が連携

電話を使った特殊詐欺の被害額が船橋市で前年を上回っている状況を踏まえ、同市と船橋署、船橋東署、防犯組合連合会（防連）は、NTT東日本の「AI（人工知能）」を活用した特殊詐欺対策サービス「AI防連」を導入し、被害の未然防止に取り組む。通話の内容を自動的に分析し、特殊詐欺の可能性がある場合には警告するというもので、市内の高齢者約20世帯に専用端末を設置してもらい、効果が確認できれば対象を増やすことを検討する。

NTT東のサービスは、まず家庭の電話機と接続した通話録音機能付き端末が通話の音声を録音。その音声データがクラウドへ転送され、「特殊詐欺解析サーバ」が通話の内容を解析すると判定した場合、事前に登録した親族らの電話番号やメールアドレスに注意喚起の連絡が届けられる仕組みだ。

両署が過去のデータなどをもとに特殊詐欺対策が必要と判断した65歳以上の市民を選出し、防連に連絡。防連が意向確認を行い、利用する市民にはNTT東がサービスを提供する。

利用料は毎月440円で、「ナンバーディスプレイ」のサービスをすでに契約している世帯は無料になるという。東京都品川区で1月、AIを活用した特殊詐欺対策サービスの利用を契機に容疑者が逮捕されたという実例に両署などが注目し、NTT東との連携に踏み切った。



特殊詐欺の被害を防ぐために、電話機に接続する端末（NTT東日本提供）